



2019 Recruit Information



社会福祉法人
多摩大和園

～ 求人・採用情報 ～



やまと苑

さくら苑

きよはら



介護の仕事は・・・

誰かに必要とされることで、自分自身が成長できる仕事です！

ご利用されるお一人おひとりが生きがいを持ち、充実した日々をお送りいただけるよう、私たちはご利用者と時間を共有し、共感の中に喜びを見出しています。

介護の仕事はローテーション勤務（早番・日勤・遅番・夜勤）が基本となり、それぞれの時間帯で、それぞれの仕事を各職員が連携・協働しながら取り組んでいます。

生活に援助を必要とする高齢者に対して、食事介助、入浴介助、排泄介助、移動介助などの他、日常的なコミュニケーション、季節ごとの行事やサークル活動の企画・実施、各種委員会活動、業務改善の提案など、ご利用者へのサービス提供の充実のための大切な活動もあります。



ごあいさつ



社会福祉法人 多摩大和園
理事長 川崎 裕康

我が国は世界に類をみない速さで高齢者人口が増加し、逆に少子化などにより若年層人口が減少することで超高齢社会を迎えております。このような社会情勢の中、高齢者介護は重要な位置付けにあるものであり、それを担うことは社会的にも大きな役割であることはいうまでもありません。

社会福祉法人多摩大和園では、正規職員のうち介護職員の採用については、新卒者を中心とした採用活動を行っています。新卒採用者は大学（福祉系以外の学部も含む）・短大・専門学校・高等学校と学歴・教育課程や志望動機もさまざまですが、高齢者介護に向けられた熱意・情熱は皆が等しく持っているものと感じております。新卒で採用した若者が介護職員として成長できるよう『対人援助者として』『サービス提供者として』『介護職・専門職として』『人として』そして『多摩大和園の職員として』の人材育成に力を入れ、今では介護現場の中核を担って活躍する新卒採用者も少なくありません。

そして当法人の新卒採用者の離職率が低いことも、若い世代にとっては、働きやすい職場環境であると自負しているところです。

わたしたちが大切にしていること



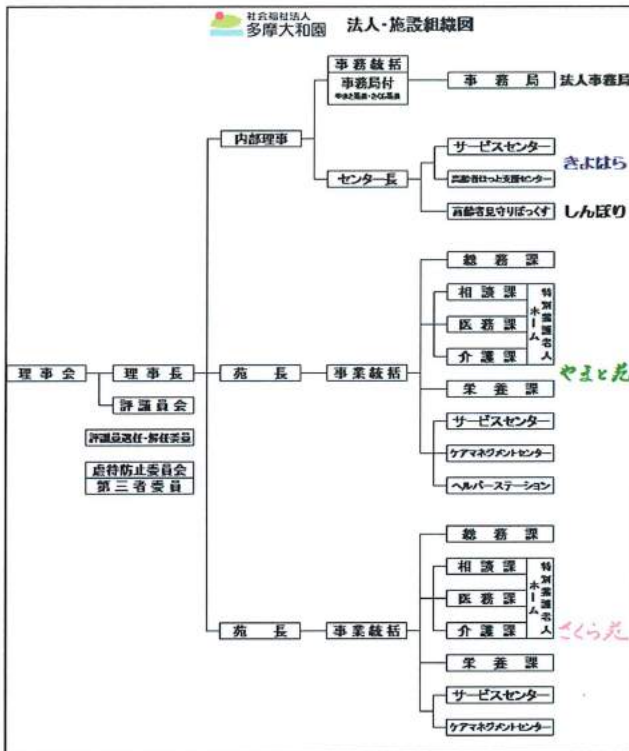
- 『命・安全・その人らしさ』～最優先にまもるべきもの～
- 『家庭』～施設というだけではなく、ご利用者の自宅でありたい～
- 『生活』～衣・食・住、排泄、入浴、寝起き・・・それだけで良いのか～
- 『習慣』～日本の風習、季節感、手を合わせることの大切さ～
- 『潤い』～サークル活動、行事、趣味、思いの実現・・・何を叶えられるか～
- 『現有能力の活用』～できることを減らさない、できないことを増やさない～
- 『家族』～情報共有の大切さ、事実を正しく伝えることの重要性～
- 『地域』～最期まで地域社会の一員である、社会性の保持の重要性～
- 『ボランティアとの関わり』～更なる潤いある生活のための共働～

社会福祉法人多摩大和園は・・・

当法人は、昭和46年に創設された、40年を超える歴史ある社会福祉法人です。

昭和46年、前身である社会福祉法人が乱脈経営により、多額の負債を抱えて倒産状態に陥りました。東京都は前理事長・創設者である足利正明氏に再建を依頼し、その懇請を受け、「お年寄りと職員を路頭に迷わせてはいけない」と、私財で多額の負債を代理弁済し、法人を引き継ぎ、多摩大和園の歩みは始まりました。

現在、東京都東大和市内にて、4施設14事業を運営しており、約210名の職員（契約職員などを含む）が日々、高齢者の皆さま、ご家族、そして地域の皆さまのために勤務しています。



社会福祉法人 多摩大和園

経営理念

私たちは、地域の人々が、安心して、輝いた人生を実現できるよう、慈悲のところで支援します。

運営方針

地域の皆様の声をもとに、安心して利用できる福祉の拠点を創造し、地域と共に歩みます。

人権・人格を尊重し、慈しみと思いやりの心で、一人ひとりを大切にしたい支援を行います。

法令及び社会的規範を遵守し、情報開示を積極的に行い、公正で透明な経営をいたします。

法人沿革

- 昭和46年9月 前法人より事業を引き継ぐ
法人名変更「社会福祉法人多摩大和園」
施設名変更「多摩大和老人ホーム」
- 昭和50年8月 多摩大和老人ホーム診療所事業開始
- 平成5年4月 施設名「多摩大和老人ホーム」を「やまと苑」に変更
- 平成6年4月 総合福祉施設「さくら苑」開設事業開始
- 平成10年3月 やまと苑 湖畔の旧施設から狭山の新施設へ移転
- 平成10年4月 やまと苑 在宅サービスセンター、在宅介護支援センター、ホームヘルパーステーション事業開始
- 平成12年4月 介護保険法施行 全事業介護保険制度へ移行
東大和市委託事業変更（高齢者生きがいデイサービス事業、生活支援ホームヘルプ事業）開始
- 平成14年12月 東大和市高齢者在宅サービスセンターきよはらを東大和市より受託
- 平成18年4月 東大和市南部地域包括支援センターを東大和市より受託
- 平成19年3月 法人創設者 足利正明理事長逝去
- 平成26年4月 東大和市高齢者見守りぼっくすしんぼりを東大和市より受託



(旧 やまと苑)



施設紹介



やまと苑

東京都東大和市狭山2丁目1264番地5



介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	定員86名
短期入所生活介護事業（ショートステイ）	定員6名／1日
通所介護事業（デイサービス）	定員35名／1日
認知症対応型通所介護（デイサービス）	定員12名／1日
訪問介護事業（ホームヘルプサービス）	
居宅介護支援事業（ケアマネジメント）	
生活支援ショートステイ（東大和市委託事業）	



『やまと苑』は、東大和市北部の多摩湖畔に面した住宅街に位置し、春は満開の桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は陽だまりに囲まれ、四季折々の豊かな自然の中にたたずんでいます。窓辺に面する「喫茶やまと」は、ご利用者、ご家族のみならず、地域の交流の場としても広くご利用いただいています。また、納涼祭・芋煮会・文化祭・除夜の鐘・地域懇談会等を通じて、地域に根差す拠点として、積極的に活動しています。お一人おひとりが、いきいきと暮らし、穏やかで心豊かな生活のお手伝いをしています。

施設紹介



さくら苑

東京都東大和市桜が丘2丁目122番地4



介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	定員80名
短期入所生活介護事業（ショートステイ）	定員6名/1日
通所介護事業（デイサービス）	定員35名/1日
認知症対応型通所介護（デイサービス）	定員12名/1日
居宅介護支援事業（ケアマネジメント）	
生活支援ショートステイ（東大和市委託事業）	



『さくら苑』は東大和市南部の住宅地・商業地域に位置し、苑前には市民の憩いの場である“東大和南公園”が季節ごとに姿を変え、自然豊かに広がっております。苑の西と南は4月になると桜が咲き誇り地域の皆様と一緒に楽しんでいます。

特別養護老人ホームでは、各フロアーにてゆったりとした時間が流れています。ご家族の面会も多く、ご利用者、ご家族、職員が三位一体となった大きな家族を目指しています。在宅サービスにおいては、趣味活動、体操等を通じて、活気ある、笑いの絶えない楽しいひと時をお過ごし頂いております。

施設紹介



きよはら

東京都東大和市清原1丁目1番地34号棟1階

通所介護事業（デイサービス） 定員35名/1日
高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）

高齢者見守りぼっくす しんぼり（高齢者見守り相談窓口設置事業）
東京都東大和市新堀3丁目6番地1 新堀地区会館2階



「住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしたい」「介護に関する悩みを解決したい」サービスセンターでは、様々な趣味・生きがい活動や楽しいレクリエーション活動を用意し、『介護予防』『自立支援』の観点から心身機能の維持や仲間づくりのお手伝いをしております。また、行事、園芸、庭の植物の成長など、季節を感じ、楽しめるようにしております。高齢者ほっと支援センター、高齢者見守りぼっくすでは、医療・福祉の専門職が様々な相談に応じ、安心して生活ができるように、身近なところから、お手伝いをしております。

季節行事・イベント・サークル活動・・・

職員もご利用者と一緒に楽しむ、様々なイベント活動

1年を通じて季節の行事、外出行事などを行っています。日々の生活の中でも散歩、買い物や外気浴など、ご利用者にとっては大切な時間を一緒に過ごしています。サークル活動も趣味や生きがい、楽しみの時間になっています。

行事、サークル活動の企画立案・実施は職員の大切な役割です。ご利用者に楽しんでいただき、たくさんの笑顔と喜びに満たされるよう、職員も楽しみながら取り組んでいます。

ときには職員自身の特技を披露したり・・・ご利用者と一緒に楽しんでいます。

春



お花見会

祭



納涼祭



春の外出



マグロの解体ショー



流しソーメン

秋



芋煮会



敬老祝賀会



餅つき



冬



初詣



日常の風景



サークル活動



ショッピング

エンターティナーな職員・・・



職員の日・・・

ご利用者の笑顔に会える ～ そして一緒に時間を過ごしていく

ご利用者お一人おひとりが、その人がその人らしく、生きがいを持って、そして日々の生活を安心して
お過ごしてできるように職員一人ひとりが取り組んでいます。
今日は日直なので、全体の調整をしながらご利用者と接します。……そんな職員の日を紹介します。



8:30

全体での朝礼
各部署の一日の予定
を確認します。



14:00

i-Pad を使って、デー
タの入力。



8:40

夜勤者から申し送り
を受けます。「皆さん
ゆっくり休まれてま
した」



15:30

ちょっと、おしゃべり
コミュニケーション
も大切な時間です。



10:00

「どうされました？」
ちょっとした声掛け
も大切です。



16:00

一日のデータを確認
しながら、記録を入力
します。



11:00

ご利用者と一緒に、お
地蔵様にお参り。
ゆったりとした時間
が流れます…



17:00

夜勤者に申し送りを
します。「皆さん、お
元気に過ごされてい
ます」



12:00

食事介助
声をかけながら、ゆっ
くりと…



17:30

今日も一日、お疲れ様
でした。



多摩大和園の職員は・・・

みんなで協力し、互いに支えあえる・・・そんな職場環境です



若手職員からベテラン職員まで、一般職員から管理監督職員まで、みんなで力を合わせ、互いに協力しています。私たちは「風通しの良い職場風土」を目指しています。

仕事の場だけではなく、職員親睦会による一泊旅行、観劇、新年会や各施設での歓送迎会、お花見など、職員間のコミュニケーションの場を大切にしています。

若い職員が、先輩職員や他職種職員と互いの持ち味を出し、連携・協力して働いています。

特養介護職員（正規職員） 約50%が30歳未満 平均年齢は33.0歳

新卒者を中心に介護職員を採用して、法人・施設内研修で人材育成を進めています。



平成28年度 新卒採用者

職員親睦会

福利厚生のひとつとして、職員親睦会があります。
職員旅行や歓送迎会・新年会など、

仕事以外の楽しみもいろいろ・・・

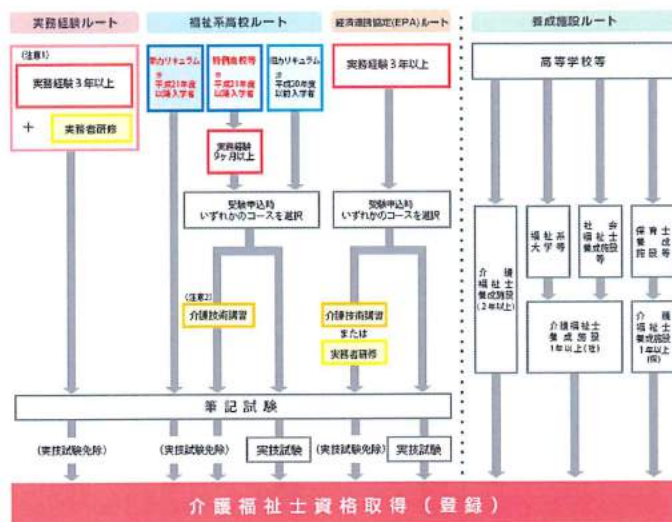



千葉の海に出かけたり 歌舞伎座に行ったり

何よりも大切なことは、相手を思いやる気持ちや人間の持つ本質的な優しさを持っていることです。これは学校などで学んで得られるものではなく、そのような資格制度も当然ありません。どんなに高学歴でたくさんの資格を持ち、多くの経験があっても相手を思いやる気持ちがなくては、介護職員（社会福祉に携わる職員）としては不完全であると言えます。

高学歴であれ、有資格者であれ、どんな人でも介護の現場（職場）では最初はみんな初心者なのです。高齢者や介護などに向かう姿勢が一番大切です。

『介護福祉士取得』を目指して



採用時は無資格でも、一定の条件を満たすと介護福祉士（国家資格）の受験資格を得ることが出来ます。介護福祉士の受験には実務経験3年間と介護福祉士実務者研修修了が必要となります。先輩職員も介護の現場で経験を積みながら、研修の場で学び、介護福祉士を取得しています。

先輩職員からのメッセージ

平成24年入職

さくら苑 長谷川 圭介



入職当初は、仕事を覚えるのに無我夢中になっていましたが、的確な指導と優しい笑顔の先輩達に支えられ社会人として充実した日々を送る事ができました。今では、入職してきた後輩のために、まだまだ未熟ですが先輩として手本となるよう努力しています。

平成25年入職

さくら苑 藤森 美夏



さくら苑の雰囲気は明るく、先輩職員はとても優しく、丁寧に仕事教えてくれるので、働きやすい職場だと思います。私は入居者様と過ごす一日一日、ひとときを大切に、周りから「ありがとう」と言われる笑顔の絶えない職員になりたいと思います。

平成26年入職

やまと苑 浦澤 香澄



やまと苑に入職して3年が経ちました。最初は不安でいっぱいでしたが、先輩方が優しく、丁寧に指導して下さるので、とても働きやすいです。利用者様の笑顔が見れた時が一番幸せで、やりがいを感じます。皆様が安心して生活ができる様にこれからも頑張ります。

平成27年入職

やまと苑 高橋 亜実



私は、介護の短期大学に在学中、いろいろな施設へ実習に行きました。今まで見てきた施設の中で職員の仲の良さやチームワークの良さは一番で、とても働きやすい環境だと思います。利用者様の笑顔だけではなく、職員も笑顔も絶えないので楽しみながら働けます。

平成27年入職

きよはら 千葉 美里



きよはらは曜日ごとに利用者様が変わり、初めは名前や仕事を覚える事に必死でしたが、先輩方が優しく丁寧に指導して下さり、とても働きやすい職場だと感じました。今では、利用者様からの笑顔や「ありがとう」の言葉が私の支えになっています。

平成28年入職

やまと苑 加藤 愛花



入職当初は不安でいっぱいでしたが、やまと苑は職員の仲が良く、先輩方が優しく指導して下さいます。職員の雰囲気に連動し、利用者様の笑顔をたくさん見ることができとても充実しています。これからも、利用者様に安心して笑顔で生活して頂けるよう頑張ります。

人材育成

人と人がふれあう仕事だから ～ 自分自身が育つこと、それが法人の財産になります

入職後、その方にあわせた新任研修、教育、トレーニングを行います。どんなベテランでも最初はみんな初心者だったのですから、一歩ずつ確実に技術、知識、仕事に対する姿勢を学んでいき、一人前の介護職員になれるように応援していきます。下記の研修は、当法人・施設で行われているものの一部です。

“学ぶ・体験する”そして考えて行動できるように・・・

○ 採用前・採用時研修

採用前に当法人のこと、サービスマナー、介護等体験などを通して基本的な事項を学びます。採用後は、配属先にて要介護高齢者との接し方、介護に関わる知識・技術を習得するための基礎研修が行われます。



○ 現場研修（OJT）

担当職員がマンツーマンで実際の介護場面の中での技術研修を行います。一つ一つの介護技術・動作をその職員の習得状況にあわせてレクチャーしていきます。

○ 新任職員研修

入職後に介護に関わる知識・技術の基本研修を行います。その後、半年後を目安にフォローアップ研修を行います。2年目以降は、段階・レベル別研修になっていきます。

○ 全体研修

法人の全職員を対象に、弁護士、医師、大学教授、学識経験者などを講師として招き、専門的な内容の研修を行います。

○ 施設内・事業別研修

配属施設・事業にて定期的に研修を行っています。テーマは「感染症の予防」「バイタルサイン」「人権擁護」など、身近なものとしています。



○ 救命救急講習

普通救命講習を受講し、心肺蘇生、AEDの使用方法を学び、救命技能認定証を受けます。

採用前研修



多摩大和園の職員としての第一歩・・・



1日目	2日目
自己紹介、社会人とは	バイタル測定
社会福祉法人・介護保険制度について	入浴介助
職員教育について	移乗・移動介助
手洗い・食事介助・口腔ケア	多摩大和園について
排泄介助	サービスマナー
一日の振り返り	二日間の振り返り



法人マークの由来



人と心を丸に

温かく慈しみの心で
受け止める優しい緑の葉、

それらすべてを支える
広がりある水色は
多摩湖・地域を。



社会福祉法人 多摩大和園

東京都東大和市狭山2丁目1264番地5

電話 042 (563) 8181

<http://www.tamayamotoen.net>

やまと苑

東京都東大和市狭山2丁目1264番地5

西武多摩湖線「武蔵大和」駅下車 徒歩7分

東大和市内循環バス「ちょこバス」「やまと苑」下車 徒歩1分

さくら苑

東京都東大和市桜が丘2丁目122番地4

西武拝島線、多摩都市モノレール「玉川上水」駅下車 徒歩12分

きよはら

東京都東大和市清原1丁目1番地34号棟1階

西武新宿線「久米川」駅下車 西武バス「立川駅北口」行き乗車

西武拝島線「東大和市」駅下車 西武バス「久米川駅」行き乗車

「団地北」下車 徒歩1分